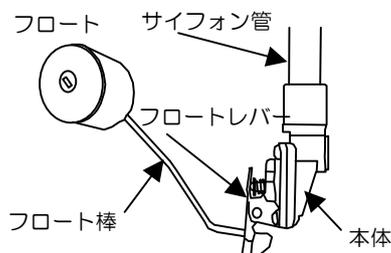


過充てん防止装置の組付時の注意点について

過充てん防止装置をLPGタンクに取付る際、下記について十分注意して下さい。 (WEE, WET, WLL, WLM容器を例に説明します。)
 LPGタンク取付座と過充てん防止装置本体との干渉により、フロート棒の曲がり・フロートレバーの曲がりが発生し、機能不良(過充てん・充てん量不足・充てん不能)を引き起こす可能性があります。組付手順に従い、過充てん防止装置の組付を実施して下さい。

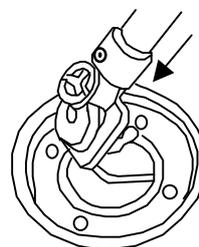
手順 1

新品のガスケットを容器充てん座にセットし、過充てん防止装置のバルブ部及びサイフォン管部を持ち、フロートからLPGタンク充てん座(取付口)に挿入します。
 フロート棒及びフロートレバーには触れないで下さい。曲がり・変形の可能性があります。
 *ガスケット品番: 90430-42255/3mm品



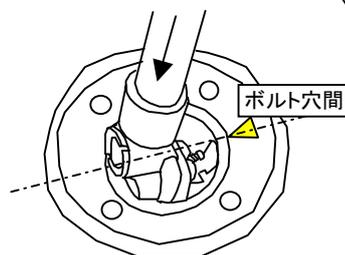
手順 2

フロートの挿入の際、干渉を避ける様に注意して下さい。又、フロートを過充てん防止本体部までゆっく挿入して下さい。



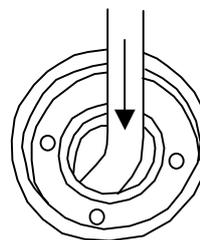
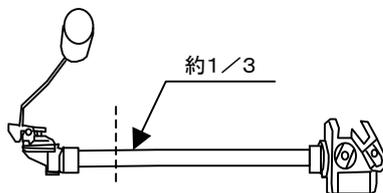
手順 3

過充てん防止装置本体のフロートレバー部を右図のように組付ボルト穴(M8)間に位置を合わせ、本体部を回転させないでゆっくりと干渉させないように挿入下さい。
 ボルト穴裏面は、突起があるため、組付け時に部品が干渉、変形する恐れがあります。



手順 4

過充てん防止装置のフロート及び本体部を回さないで挿入後、サイフォン管を約1/3まで挿入して下さい。



手順 5

サイフォン管を1/3挿入後、ゆっくりバルブを回転させ、取付位置に合わせて下さい。又、ガスケットがズれていないか等確認して下さい(洩れの原因になります)。位置合わせ後、ボルト(4本)を規定トルクで締付を行って下さい。

ボルト締め付けトルク: 14~20N・m

